

2011 年度 社団法人神奈川県社会福祉士会 事業報告書

はじめに

2011年3月11日に発生した東日本大震災による災害によって、私達人間は大自然の力の中で生活していることの意味を、これでもかというほど思い知らされました。多くの尊い命と財産が奪われ、人々の営みがいとも簡単に破壊されました。犠牲になられた人々のご冥福をお祈りします。まだまだ復興ならぬ被災地で生活される人々や、混乱の中、活動されている現地の社会福祉士の仲間にお見舞いを申し上げます。

2011年度の本会事業は、大震災復興支援活動が突然に加わり、予定していた本来活動に支障を出さずに、かつ、復興支援活動を強力に進めるために、何ができて何ができないことか、決断と実行力が問われた年度であったと思います。復興支援活動は、日本社会福祉士会と連動して被災地へ多くの会員が出かけて力を発揮し、県内においては、横浜市や神奈川県への協力申し出を行い、県内避難者への支援を広げることができました。会員の皆さんの行動力に感謝します。

2011年度の事業計画案を準備したのは大震災前でした。震災が起き、震災直後の総会開催も危ぶまれた中で、事業計画等が認められ、緊急提案として「東北地方太平洋沖地震に対する取り組み（当時の表記）」を始めることが追加されました。日本社会福祉士会同様、本会も災害対策本部を立ち上げ、その活動は現在も継続して行われています。今後もできることを続けていきましょう。

5月総会において、本会将来ビジョン検討会の報告書を発表しました。これにより本会の将来の進むべき方向の考え方が示されました。さらに専門性を伸ばし、会の組織力の強化をうたい、「公益社団法人」への選択を示しました。これを受けて、公益社団法人への準備を進めてきました。

支部活動においては、本年度も多くの会員の力添えに支えられ、新入会員を焦点にした、支部の個性を発揮した活発な活動が行われました。

本会の県からの委託事業としては、「地域生活定着支援事業」が軌道にのり、その職責を果たしています。また、「ホームレス等及び生活困窮者支援事業」が新たに加わり、厚木市内においてシェルターを開設しました。

この1年間の歩みを踏まえ、今後も社会のさまざまな分野の、あらゆる社会問題に対し、社会福祉士の活動が柔軟に果敢に展開されるよう、より充実した組織となることを目指して、会員の皆さんのさらなる参加をお願いします。

<重点事業への取り組みと成果>

1. 新公益法人への移行準備体制の強化

新公益法人化準備委員会を開催し、現行の事業等を公益目的事業に適合することをはじめとして、組織改編、規定類の見直し、定款の改正案作成に取り組みました。2013年4月の新公益法人化を目指して、継続して準備を進めています。

2. 生涯研修センターの設置に向けての取り組み

日本社会福祉士会の生涯研修制度の見直しに伴い、2011年4月に設置した生涯研修センター組織の整備に向けて、研修委員会を中心に取り組みを進めてきました。2012年度からの新たな基礎研修の実施の準備をおこない、研修企画・運営・研修履歴管理のシステムの構築が充実するよう、今後もさらに取り組んでいく予定です。

3. 地域生活定着センターの体制の充実

センターの体制の充実をはかり、保護観察所、刑務所等の関係各機関との連絡調整を密にし、対象者支援に力を注いできました。事業としては順調に進んでおり全国のセンターと協力しながら地域生活が安定できるよう様々なネットワーク作りをしています。また12月には、センター開設1周年を迎え、記念講演会も開催し、また地域生活定着に関するシンポジウム等、県内全域で多彩な広報活動を行ってきました。内外の様々な研修会・講習会に参加し職員のスキルアップも強化し、体制の充実をはかりました。

4. 人権侵害（虐待）に対する取り組み

高齢者虐待対応への取組みをすすめて、高齢者虐待対応現任者標準研修を本会地域包括支援センター推進委員会およびばあとなあ神奈川とも協力して、企画運営を行い2011年度内に3日間の研修日程を設定し開催をしました。今後は高齢分野だけでなく、障害や児童等の虐待問題に対する取組みも実施する方向で検討していきます。

5. 東日本大震災支援の取り組み

日本社会福祉士会復興対策本部と連携し、被災地の地域包括支援センターなどに会員を派遣しました。人数は延べ68人になります。また、たきがしら会館や県立武道館での避難者への相談活動にも延べ86人の会員が

参加してきました。また、2011年6月から県の事業として始まった避難者見守り隊の仕事も、2012年4月から本会が受託します。震災から1年経過しますが、引き続き支援の手を緩めず、活動を続けていきます。

〈事業実績〉

1. 成年後見・権利擁護事業の実施（ばあとなあ神奈川）

〈概況〉

東日本大震災の影響により、いくつかの研修等が中止または延期となった。そのような中で、ばあとなあ神奈川は、地区運営委員・地区コーディネーターを軸に各地区ブロックでの顔の見える支援体制、研修体制を活性化させてきた。

主な取り組みとしては、受任者への新たな支援体制として、毎週木曜日の電話相談時に受任者へのスーパーバイズ体制を取り入れ、後見活動をしている部員に対しての具体的なサポート体制を整える事に努めた。また、弁護士会・司法書士会・精神保健福祉士会を交えて、多職種による事例検討会を行い、福祉と法律を相互に学び合い、成年後見人としての視点・知識・技術の向上を図った。更に、近年活発になってきている市民後見活動への参加の一例として、横浜市における市民後見制度検討会への部員の派遣があげられる。

地区コーディネーター制度を取り入れ2年目となる本年度は、地区ブロックごとの活動や研修体制も次第に充実しつつある。

2012年度以降、ばあとなあの運営体制は、これまでの三小委員会体制から、総務、法人後見・研修・相談・養成・地区の五部門体制に改め、委員長1名・副委員長5名となり新たにスタートをする。また、日本社会福祉士会の基礎研修体系の見直しに伴い、成年後見人養成研修においても新たな変革が見られるであろう。

(1) 成年後見候補者の推薦と後見人受任者への支援活動

- ① 家庭裁判所への後見人候補者名簿の提出 2012年3月 現在:353名
 ② 本年度法定後見受任状況 受任中累計523件

	照会件数	【内訳】 現在活動数	閉止	不受理	審判待ち、調整中、申立予定等
2011年度のみ	244	100	30	23	91
本年度末累計件数 (2011年度含む)	1,026	523	321	83	101

ア 類型および障害別・依頼元別受任状況 (2011年度) (244件)

後見類型 障害別	後見	保佐	補助	合計	家庭裁判所	市町村
					【内訳】本庁	42
認知症	118	26	5	149	川崎支部	申立相談プロジェクト
知的障害	33	19	2	54	横須賀支部	親族
精神障害	24	10	4	38	相模原支部	その他
その他	2	1	0	3	小田原支部	合計
合計	177	56	11	244	東京家裁	0

イ 申立人別照会状況(2011年度) (244件)

本人	親族	後見人	行政 124				その他 家裁職権、他仕業	合計
			市長	区長	町長	村長		
29	79	8	56	56	10	2	4	244

【市町村長申立内訳】(カッコ内が件数)

横浜市(区長55)、川崎市(25)、平塚市(3)、藤沢市(2)、小田原市(5)、茅ヶ崎市(1)、相模原市(4)、厚木市(2)、大和市(2)、座間市(7)、南足柄市(1)、綾瀬市(2)、寒川町(1)、大磯町(1)、二宮町(1)、大井町(2)、松田町(1)、山北町(1)、開成町(2)、真鶴町(2)、清川村(1)、東京都(2)

③ 後見候補者及び後見人受任への支援活動

- ・部員同士の顔のみえる関係づくりを目標に、地区活動の支援を行った。
- ・受任者への新たな支援体制として、電話相談時のスーパーバイズ体制を取り入れた。
- ・研修小委員会を中心に部員向け研修の充実を図った。

④ 成年後見活動に対する業務監督活動

- ・成年後見業務監督委員会運営要綱に基づき、業務監督委員会を11月18日と3月15日の2回開催した。

⑤ 成年後見人養成研修と登録状況

(社)日本社会福祉士会主催による成年後見人養成(委託集合)研修を実施した。

成年後見人養成(委託集合)研修

- ・日程:2011年7月16日(土)、8月13・14日(土・日)、9月10日(土)、9月24日(土)10月16日(月・祝)(全6日間37時間)
- ・主な内容:本部カリキュラムに準ずる。成年後見制度及び関連法・身上監護・財産管理・精神医学の各概論・演習、成年後見人実務演習等。昨年度より、「ばあとなあ部員に必要な事務」という、ばあとなあ神奈川独自の研修日を一日増やしている。
- ・講師:ばあとなあ神奈川部員、家庭裁判所担当者、弁護士、司法書士、精神科医等
- ・運営方法:運営委員の成年後見人養成(委託集合)研修委員を中心に運営・実施

名簿登録状況:

2011年度支部委託研修	受講生	修了生	登録者
	44名	44名	44名

(2) 法人後見

報酬付与の申立については計3件の申立を行った。

法人後見業務執行者の連絡会は9月と3月に実施した。

	後見	保佐	補助	合計
認知症	1	0	0	1
知的障害	4	2	2	8
合計	5	2	2	9

(3) 成年後見人研修等

① 部員全体会

【第1回】・日程:2011年6月18日(土)13:30~16:30・参加者数60名

- ・講演テーマ『リーガルサポートかながわの倫理対策について』
- ・講師:公益社団法人リーガルサポート神奈川県支部 支部長:木村 一美氏(司法書士)
- ・全体会テーマ: ① ばあとなあ神奈川報告
 - ・会員の解任事案について
 - ・ばあとなあ神奈川2010年度事業報告、2011年度事業計画(案)
 - ・神奈川県社会福祉士会 手数料規程について
 - ・ヒアリング同行者交通費負担について
 - ・任意後見契約の締結に伴う任意代理契約の締結前報告実施について
 - ・ばあとなあ神奈川活動の手引き【暫定版】について

【第2回】・日程:2012年2月26日(土)13:30~16:30・参加者数78名

- ・講師テーマ: 『成年後見法・介護保険法施行10年を振り返って』
- ・講師:中央大学法学部教授・筑波大学名誉教授・日本後見法学会理事長:新井 誠 氏
- ・全体会テーマ: ① ばあとなあ神奈川報告
 - ・ばあとなあ神奈川2011年度事業報告(受任状況・地区ばあとなあ活動状況について)
 - ・ばあとなあ神奈川2012年度事業計画(案)(新体制の導入・次年度の研修について)

② 初任者研修 「成年後見人初任者フォローアップ研修」

- ・日程:2012年1月28日(土)午前・午後 参加人数 34名
- ・講師:尾亦 恒夫氏

- ・対象：① 2010・2011 年度成年後見人養成研修修了者
 - ② ばあとなあ名簿登録者で未受任者
 - ③ ばあとなあ名簿登録者で受任後 1 年未満の者
 - ④ ばあとなあ名簿登録者で受任後 1 年以上経過しているが、当研修未受任者
- ・内容：① 受任以降の後見活動の実務（報酬付与申立までを含む）
 - ② 事例報告：成年後見活動を開始した少し先輩からの報告
 - ③ 演習（報酬付与等）

③現任研修

ア【終了の事務】

- ・日程：2011 年 8 月 21 日（土）午前・午後 参加人数 19 名
- ・講師：雨宮 徹氏（ばあとなあ運営委員会副委員長）
- ・対象：ばあとなあ名簿登録者
- ・内容：①「終了の事務」の実務②事例報告と演習

イ【認知症高齢者を対象とした後見活動の基礎知識】

- ・日程：2011 年 10 月 15 日（土）午後 参加者数 18 名
- ・講師：柴田 範子氏（東洋大学）
- ・対象：ばあとなあ名簿登録者
- ・内容：① 認知症の病気の理解 ② 事例報告 ③ 介護保険制度や関連制度の理解

ウ【成年後見人として知っておきたい生活保護の基礎知識】

- ・日程：2011 年 11 月 5 日（土）午後 ・参加者数 40 名
- ・講師：菊池 健志 氏（神奈川県職員 主幹）
- ・対象：ばあとなあ名簿登録者で、生活保護制度を基礎から学びたい方
- ・内容：① 生活保護制度について ② 生活保護と後見活動について

④ 多職種事例検討会

- ・日程：2011 年 11 月 24 日（木）夜間 参加者数 11 名
- ・出席者：横浜弁護士会（1 名）・リーガルサポート神奈川（3 名）
神奈川県精神保健福祉士会（1 名）・神奈川県社会福祉士会（6 名）
- ・内容：福祉関係と法律関係のテーマで、多職種に助言を得たい事例を提出し検討

⑤ ばあとなあ申立相談員（仮称）養成研修

- ・日程：2012 年 3 月 24 日（土）午前・午後 参加者数 19 名
- ・講師：和田明子氏、大埜嵩氏、小野田潤氏、那須三朗氏、中丸一郎氏
- ・対象：① ばあとなあ部員として後見人等の受任経験が 2 年以上ある方
 - ② 申立相談員（仮称）として平日・日中活動できる方
 - ③ ばあとなあ電話相談員として活動できる方
- ・内容：申立相談員（仮称）の倫理、申立相談制度の内容、申立実務の説明・演習等

(4) 成年後見活用講座

- ・開催日：【1 日目】2011 年 11 月 12 日（土） 9：45～16：30 参加者数：55 名
【2 日目】2011 年 11 月 13 日（日） 10：00～16：30 参加者数：53 名
- ・講師：司法書士 酒井盛光氏 社会福祉士 田中晃氏、鈴木雅人氏、雨宮徹氏、
- ・場所：神奈川県社会福祉会館
- ・内 容：【1 日目】成年後見制度の概要と後見人の職務（制度の理解・後見人の役割と連携）
【2 日目】後見制度を利用するための手続き（申立の流れなど）

(5) 成年後見地域啓発事業

- ・二宮町 成年後見セミナー 開催日時：2011 年 11 月 19 日（土）午前・午後・参加者 68 名
- ・場所：二宮町民センター
一般市民を対象とした無料相談会及び成年後見セミナーを開催した。

(6) 権利擁護に関する電話相談事業

開設後 10 年が経過し、相談内容は、制度の活用方法や後見申立書の記入方法といったものから、後見人候補者として社会福祉士の紹介依頼へと変化してきている。相談機関等からの申立相談援助についての

依頼、部員受任者からの相談も多く、本年度から部員受任者へのスーパーバイズ体制を取り入れた。

- ・ 日常的相談事業：研修終了後受任経験者がスキルアップ研修を重ねながら担当している。
- ・ 面接相談：予約制
- ・ 電話相談：週3回(火・木・土の14:00～17:00)に行っている。
- ・ 申立支援相談も対応し、申立支援プロジェクトへつなげている。
- ・ 年間相談件数:300件(うち面接25件)また、電話相談日以外に事務局へ相談があったものは、専門員が対応した。
- ・ 相談内容:1位-後見人候補者紹介、2位-申立手続、3位-制度概要、の順であった。

	月	火	水	木	金	土	合計
2010年度	0	88(8)	1	103(3)	0	36(5)	228(16)
2011年度	0	134(5)	3(1)	95(12)	0	43(5)	300(25)

(カッコ内は面接件数)

(7) 運営委員会活動等

運営委員会については、月1回の割合で開催しており、今年度前半は第一土曜日、後半が第二木曜日の開催とした。

① 運営委員会の開催状況

ア 開催数：13回

イ 主な内容

- ・ 相談、研修企画、法人後見等の運営協議
- ・ 成年後見受任の迅速化・受任者支援のしくみの検討
- ・ 他機関への講師派遣・連携、本部、県・市等からの要請事項検討 他
- ・ 事業方針、予算、事業計画等
- ・ クレームに対する対応

② 小委員会活動(随時開催)

- ・ 相談小委員会
- ・ 研修小委員会
- ・ 法人後見小委員会

(8) 他機関主催研修会・相談会等への講師派遣

① 2011年度 神奈川県成年後見制度普及事業(神奈川県・神奈川県社会福祉協議会主催)

研修名	日程	講師〈敬称略〉
成年後見地域研修会(湘南東部圏域)	11月30日	尾亦恒夫
成年後見地域研修会(湘南西部圏域)	11月7日	池永康子
成年後見地域研修会(県央圏域)	10月24日	佐々美弥子
成年後見地域研修会(県西圏域)	11月21日	和田明子
成年後見地域研修会(横須賀・三浦圏域)	10月3日	中田美智子
親族後見人サポートセミナー	3月5日	和田明子

② 2011年度「障害のある方とご家族のための成年後見制度説明会」(横浜市主催) 〈敬称略〉

港北区	内山 信隆	都筑区	吉田 千代	中区	田村左千男
緑区	須田 幸隆	泉区	土谷 勉	旭区	前田茂興
瀬谷区	新津 眞二	神奈川区	古橋 良伸	港南区	荒井 薫
金沢区	佐々美弥子				

③ 市民後見人関係研修 〈敬称略〉

内容	主催	開催日	派遣者〈敬称略〉
よこすか市民後見人養成研修基礎編	横須賀市社会福祉協議会	6月1日	佐々木美保子
よこすか市民後見人養成研修基礎編	横須賀市社会福祉協議会	6月29日	深津俊江
よこすか市民後見人養成研修基礎編	横須賀市社会福祉協議会	8月3日	猪又康行

④その他研修会・相談会等〈敬称略〉

内容	主催	開催日	派遣者 〈敬称略〉
親族後見人向け基礎研修	川崎市社会福祉協議会	7月22日	武笠太朗
成年後見制度セミナー	成年後見センター・リーガルサポート神奈川	10月5日	内山信隆
成年後見制度の概要	やまゆり障害児者生活サポート協会	10月7日	雨宮徹
成年後見制度講座	横浜市新子安地域ケアプラザ	10月13日	田村左千男
成年後見制度市民公開講座	相模原市社会福祉協議会	11月12日	小泉昇
成年後見センター設置 準備特別委員会勉強会	県央福祉会	11月17日	能條尚樹
みうら市民祭 「成年後見制度無料相談会」	三浦市社会福祉協議会	11月20日	佐々木美保子 西山元弘
法人後見担当者研修会	神奈川県社会福祉協議会	11月22日	鈴木雅人
成年後見制度中級研修	横浜市	11月24日	佐々美弥子
親族後見人のための講習会と相談会 (海老名)	かながわ成年後見推進センター	12月17日	平岡祐二
親族後見人のための講習会と相談会 (平塚)	かながわ成年後見推進センター	1月28日	池永康子
市民相談会・シンポジウム	川崎市社会福祉協議会	2月5日	武笠太朗 大埜嵩
処遇困難ケース検討会	川崎市社会福祉協議会	2月17日	武笠太朗
認知症治療研究センター公開講座	聖マリアンナ医科大学病院	2月25日	土谷勉
デイ・ケアプログラム「福祉講座」	神奈川県立精神医療センター	3月2日	雨宮徹

(9) 他団体・市町村との連携

①連絡会・検討委員会

〈敬称略〉

内容	主催	開催回数	派遣者 〈敬称略〉
成年後見制度普及確保委員会	神奈川県	3回	和田明子
関係機関連絡会	かながわ成年後見推進センター	2回	和田明子
市町村社協成年後見推進委員会	かながわ成年後見推進センター	2回	鈴木雅人
々々作業部会	かながわ成年後見推進センター	1回	鈴木雅人
成年後見制度関係機関連絡会	横浜市	1回	和田明子
成年後見制度連絡会	川崎市	2回	武笠太朗 大埜嵩
権利擁護ワーキング	川崎市	3回	武笠太朗
成年後見制度に係わる情報交換会	相模原市	3回	小泉昇 志方洋一
成年後見制度取り組み検討委員会	平塚市社会福祉協議会	2回	池永康子
横浜市における市民後見人検討委員会	横浜市 横浜市社会福祉協議会	5回	佐々美弥子 鈴木雅人
かまくら成年後見制度連絡会	鎌倉市	3回	佐々木美保子
よこすか市民後見人等運営事業推進会議	横須賀市	1回	佐々木美保子
藤沢市成年後見相談センター意見交換会	藤沢市	1回	小野田潤
成年後見受任関係団体情報交換会	三浦市社会福祉協議会	3回	佐々木美保子
社協法人後見事業立ち上げ準備会	綾瀬市社会福祉協議会	1回	那須三朗

権利擁護ネットワーク「えびなネット」	海老名市社会福祉協議会	3回	安村壽太郎
成年後見支援ネットワーク連絡協議会	茅ヶ崎市	6回	小野田潤 内藤美幸

② かながわ権利擁護相談センターアドバイザースタッフの派遣

本年度7件派遣依頼があり、ケース検討等の場面に社会福祉士を派遣した。

大和市（3回）、藤沢市、平塚市、厚木市、海老名市

③ 横浜市成年後見サポートネット（横浜市内各区）

各区の成年後見に関する事例検討会に、社会福祉士延べ18名が弁護士会・司法書士会等と共に出席し助言等に当たった。〈敬称略〉

鶴見区	古橋良伸	神奈川区	高島さち子	西 区	佐々美弥子
中 区	田村左千男	南 区	鈴木雅人	港南区	荒井 薫
保土ヶ谷区	熊谷美江子	旭 区	前田茂興	磯子区	佐々美弥子
金沢区	佐々美弥子	港 北 区	内山信隆	緑 区	須田幸隆
青葉区	須田幸隆	都 築 区	吉田千代	戸塚区	大友路子
栄 区	榎原みさ子	泉 区	篠崎美代子	瀬谷区	新津眞二

2. 成年後見活動の適正な執行

<目的>

ばあとなあ会員が受任した成年後見人及び監督人の業務内容の監督、及び本会が法人後見人として受任している業務の監査を実施する目的で、外部委員4名と本会員1名の計5名で構成される成年後見業務監督委員会を設置している。

(1) 業務監督委員会の開催

① 第1回（11月18日開催）

当日の委員会では、①ばあとなあ神奈川会員不祥事事件経過及び検証結果について報告、②後見活動定期報告として、8月度報告、③ばあとなあ神奈川法定後見照会及び受任状況の報告、④ばあとなあ神奈川法人後見の状況報告が行われ、財産管理の仕方、報酬付与申立等について意見交換が行われた。

② 第2回（3月15日開催）

委員長の開会挨拶の後、①会員不祥事検証専門委員会より最終報告、②次年度のばあとなあ神奈川組織体制について、③後見活動定期報告書（8月度及び2月度）の状況について、④ばあとなあ神奈川法定後見照会及び受任状況について、⑤ばあとなあ神奈川法人後見の受任報告について、それぞれ報告を行い、質疑応答及び意見交換を行った後、本会委員より参考資料の提供と説明があった。

3. 福祉サービス第三者評価事業の実施

(1) 福祉サービス第三者評価事業運営委員会の開催

・本会が福祉サービス第三者評価事業を実施するにあたり、運営委員会を定期的に開催し、事業の進捗状況等を確認した。

運営委員長：小泉八重子 運営副委員長：高島さち子

運営委員：梅田滋、大埜嵩、小泉昇、酒井正樹、小倉牧男、稲葉千枝子、勝俣恵子

計6回開催 4/13 6/16 8/11 10/6 12/15 2/16

(2) 受審希望事業所への対応

・今年度も、神奈川県社会福祉協議会が開発した手法を引き継ぎ、第三者評価事業の普及と実施に努めた。市町村や受審希望事業所を運営委員が訪問し、以下の評価項目・手法の説明を行った。

1. 神奈川県社会福祉士会方式 障害・高齢<グレード1> ガイドライン準拠版
2. 神奈川県社会福祉協議会方式 障害・高齢<グレード2>
3. 神奈川県社会福祉協議会方式 保育版
4. 神奈川県社会福祉協議会方式 障害・高齢グループホーム・ケアホーム

(3) 第三者評価の実施及び公表

- 神奈川県社会福祉協議会が開発した評価項目・手法を用いて、評価を行った。

① 第三者評価の実施

- 下記の8事業所について実施した。

受審事業所	使用評価項目・手法	訪問調査日
たんぼぼの家（相模原市）	本会・障害グレード1	7/21
ボヌール（竹の子学園グループホーム）	県社協・グループホーム・ケアホーム評価	11/14
秦野精華園グループホーム第10	〃	12/5
秦野精華園グループホーム第12	〃	12/7
希望苑（横浜市）	本会・高齢グレード1	12/14
やまばと学園（秦野市）	〃	12/22
古淵保育園（相模原市）	県社協方式・保育	2012・1/17
秦野精華園（秦野市）	県社協・障害グレード2	1/20

② 評価決定委員会の開催

- 上記8事業所調査について、評価決定委員会を開催し、内容を審議した。評価結果は「かながわ福祉サービス第三者評価推進機構（以下、推進機構）」及び本会ホームページにて公表した。

評価決定委員会委員長 久田則夫氏（日本女子大学教授）

○第1回評価決定委員会 9月15日（木）神奈川県社会福祉会館 1 障害者施設の評価結果を審議した。

○第2回評価決定委員会 3月6日（火）神奈川県社会福祉会館 1 保育所及び2 障害者施設 1 高齢施設グループホーム3事業所の評価結果を審議した。

(4) 研修等の実施

- 本会登録の調査員や会員等を対象にして、以下の研修会を開催した。

「第三者評価調査員研修会」 11月19日（土） 県社会福祉会館 参加者12名

①障害・高齢分野グレードⅡ評価項目・手法の理解 運営委員 梅田滋

②「評価結果公表に向けた評価決定委員会での検討の視点～

評価調査における調査確認と報告書作成で留意していただきたいこと～」 決定委員 西原留美子

- 伝達研修会（内部研修）グループホーム調査員研修受講委員からの伝達研修 5月21日（土）

県社会福祉会館 1階 ミーティングルーム 運営委員4名参加

(5) 関係機関との連携、その他

- 推進機構主催の「評価機関連絡会」に、運営委員及び事務局が参加した。
- 推進機構主催の「事業者説明会」（横浜市にて）に、運営委員・事務局が参加し、本会第三者評価事業の説明を行った。
- 推進機構開催の、障害者グループホーム等の第三者評価の手法に関する調査員養成研修会に本会所属の評価調査員2名が受講した。
- 第三者評価説明パンフレット＜福祉現場が元気になるお手伝いをします＞を関係機関に広く配布し、また事業所訪問をおこない、受審促進に取り組んだ。

4. 神奈川県地域生活定着支援センター事業の実施

本年度センター業務としては、運営連絡会議の開催、関係各機関との打ち合わせ、対象者との面接・出迎え・帰りに伴うコーディネート業務、フォローアップ業務、相談支援業務、ケア会議、広報活動、研修受講及び報告会等を行った。

(1) 関係各機関との連絡調整

横浜保護観察所、横浜刑務所、神奈川医療少年院、神奈川県、横浜市等と事業計画の審議や、実施状況の確認、事例検討等の会議を年6回開催し、連絡調整を図ってきた。

(2) 対象者支援業務

矯正施設における対象者との面談及び出迎え、行政・医療等各機関との連絡調整及び各種制度利用申請、居住先、福祉サービスの利用等を調整した。事業開始から2012年2月末まで、特別調整及び一般調整含め合計34件の依頼があった。

(3) 広報活動・研修会・報告会・講演会等

関係機関等における定着支援センター活動についての講演、一周年記念講演会、保護観察所主催による地域生活定着に関するシンポジウム等、県内全域で多彩な活動を行ってきた。

(4) 全国関連会議等への参加

全国地域生活定着支援センター協議会主催の各種会議・研修会や、関東甲信越ブロックの研修会、他都道府県のシンポジウムなどに積極的に参加をし、職員のスキルアップを図ってきた。

5. 地域包括支援センターについての各種事業の推進

(1) 全体会議の開催

委員会運営の統括、各事業の進捗状況の把握を行うために全体会議を開催した。

計4回開催： 5月19日(木)、7月25日(月)、8月23日(火)、11月27日(日)

(2) 県内の地域包括支援センター職員を対象とした研修会の開催

県内の地域包括支援センターの業務に従事する社会福祉士や、その他の職種も対象とした実践力向上を支援するための研修を開催した。

10月29日(土) 10:00~13:00 神奈川県社会福祉会館 参加者41名

地域包括支援センター職員初任者研修

「包括職員・ケアマネに必要な『伝える技術』～大切なことをわかりやすく～」

講師：ケアタウン研究所 所長 高室 成幸氏

(3) 高齢者虐待対応現任者標準研修の開催

虐待防止法にもとづく虐待対応機関、協力機関等の現任者が、虐待対応にあたる上での専門的視点、技術を習得し、実践力の向上を図るために、下記の項目を講義・演習を通じて学ぶことを目的に開催しました。(本会権利擁護事業はあとなあ神奈川およびケアマネジメント委員会と共同開催)

- ・虐待防止法の内容と法に定められている市町村の責務
- ・虐待対応における権利擁護の視点
- ・虐待対応の基本的な流れ、虐待対応ソーシャルワークモデルの視点
- ・通報受理、事実確認や緊急性の判断等初動期段階の対応
- ・対応段階における虐待の背景・要因のアセスメントと支援計画を策定するポイント
- ・虐待対応計画の評価と虐待対応機関としての支援の終結について

1日目 2月25日(土) 9:20~16:50 神奈川県総合薬事保健センター

2日目 3月3日(土) 9:30~16:20 神奈川県社会福祉会館

3日目 3月17日(土) 9:30~16:40 神奈川県社会福祉会館

参加者49名

(4) 神奈川県介護支援専門員協会地域連携事業への協力

地域連携委員会 地域包括部会への参加

全8回：7月22日(金)、8月17日(水)、10月26日(水)、11月21日(月)、12月26日(月)、1月23日(月)、2月13日(月)、3月23日(金)

地域包括連携会議・事例報告会への運営参加

第1回：10月26日(水) 14:00~16:30 西公会堂 参加者58名

「地域防災について考える」講師：防災・生活安全 我問塾主催者 佐藤榮一氏

第2回：3月23日(金) 14:00~16:30 神奈川県社会福祉会館 参加者62名

「地域見守り体制構築事業に関する見守り事例報告会」

(5) 日本社会福祉士会 地域包括支援センター支援委員会との連携

本部の担当委員会で開催する研修の、県支部からの委員派遣

10月30日(日) 地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修(グループワーク進行支援)

6. 社会福祉士研修会の実施

生涯研修制度の見直しを見据えながら、体系化された研修を会員に提供していくことを目的に生涯研修センターを立ち上げ、さまざまな分野で活動する社会福祉士にとって必要な能力を身につけるための研修を企画した。ばあとなあや各委員会・部会、y7 支部、自主活動グループ等との連携を意識しながら、初任者基礎研修、面接技術、倫理綱領、スーパービジョン、虐待問題をテーマにシンポジウム等の研修を開催した。また、実行委員会を組織し共通基盤研修を実施した。

次年度は、新生涯研修制度の初年度として、新基礎研修Ⅰを開催し、認定社会福祉士制度や日本社会福祉士会が準備を進めているスーパービジョン体制の構築など動向に注目しながら、県士会としての準備を進めていく。

※研修企画調整会議：次年度の研修企画の調整（2月11日開催）

※共通基盤研修実行委員会：さまざまな分野で活動する社会福祉士に必要な社会福祉の共通基盤6領域について研修を開催する準備を行った。

委員会：4月20日・5月26日・7月14日・9月1日・10月31日開催

〈主な活動内容〉

- ・年間を通して、下記のとおり研修を実施した。
- ・研修の企画・運営のため研修委員会を開催した。

研修委員会：4月23日・6月25日・8月27日・11月5日・2月4日開催

〈研修内容〉

研修名・会場	日程・参加者	内容・講師
社会福祉の専門職とは何か。「社会福祉士の倫理綱領、行動規範を通して考える」（神奈川県社会福祉会館）	6月12日(日) 参加者:41人	日本社会福祉士会が2005年度に採択した「社会福祉士の倫理綱領」及び「社会福祉士の行動規範」を用いた研修を企画・実施した。受講者には事前課題提出の上、当日はその内容をもとにグループワークを行った。グループワークには実践ソーシャルワーク塾にファシリテーター協力要請し、受講者の学習理解を深める工夫を行った。 講師:菊池健志氏(神奈川県保健福祉局)
初任者基礎研修 (7月・10月ウィリング横浜)	7月9日(土) 参加者:81名	「わたしたちにできること」～専門職として被災地支援の経験から考える～をテーマに、現地の支援に参加した報告や横浜支部での活動等について社会福祉士としての立場からレポートをいただいた。また、「社会福祉士として大切にしたいこと」をテーマにグループワークを行い、県下各支部役員による支部活動紹介や、社会福祉士会の生涯研修制度についても説明を行った。
	10月23日(日) 参加者:74名	講演「社会福祉の専門職とは何か～社会福祉士の倫理綱領・行動規範を通して考える」講師:菊池健志氏(神奈川県足柄上保健福祉事務所)講演を踏まえ「私の目指す社会福祉士像について」グループワークを行い、自己の社会福祉士像を明確にした。 グループワークにおいては、実践ソーシャルワーク塾の協力を得て実施した。また、県下各支部役員による支部活動紹介や、日本社会福祉士会の生涯研修制度についても説明をした。
公開シンポジウム「虐待問題に私たち社会福祉士はどう向きあうのか」 (ウィリング横浜)	12月20日(日) 参加者23名	秋山邦久氏(越谷心理支援センター所長)による基調講演を踏まえ、シンポジウムを行った。シンポジスト:「児童の現場から」島田恭子氏(乳児院施設長)・「障がいの現場から」中西晴之氏(知的障害者施設施設長)・「高齢者の現場から」中野麻里氏(横浜市地域包括)

面接技術研修 (ウィリング横浜)	1月28日(土) 参加者:26名	高齢者虐待をする家族への面接技術を、解決志向アプローチに基づいた面接を通して学ぶをテーマに、社会福祉士として必要な面接技術や記録について考え、実践で必要とされるスキルを身につける研修を行った。 講師:副田あけみ氏(関東学院大学文学部教授) 松本葉子氏(田園調布学園大学講師)
スーパービジョンとは何かー現場で実践することを目指すー (県社会福祉会館)	12月10日(土) 参加者:26名	スーパービジョンの知識と技術を身につけ、援助者としての質や専門性の向上を目指し、現場で実践できることを目標とした。 講師:舩松克代氏(田園調布学園大学人間福祉学部教授) 堀越由紀子氏(東海大学健康科学部教授)
共通基盤研修 (ウィリング横浜)	9月17日(土) 参加者:50名 11月6日(日) 参加者:82名	「社会福祉士がとらえる相談援助」講師:西川ハンナ氏(西武文理大学准教授)・「社会福祉士がとらえる地域支援」講師:宮脇文恵氏(日本地域福祉研究所)・「社会福祉士がとらえる福祉経営」講師:東海林崇氏(浜銀総合研究所)・「社会福祉士がとらえる生活構造」講師:福山和女氏(ルーテル学院大学教授)・「社会福祉士がとらえる権利擁護」講師:高山直樹氏(東洋大学教授)・「社会福祉士がとらえる実践研究」講師:竹之内章代氏(東海大学教授)

7. 社会福祉士実習推進委員会

<概況>

2008年度に立ち上げた委員会は、高齢者・障害者・児童・生活保護・社協・医療などの各分野の委員と社会福祉士養成校協会と行政のオブザーバーにより構成され、県内の社会福祉士の実習の推進や実習指導者の養成の課題について情報交換、検討しながら、ネットワーク作りを進めている。

2011年度の主な活動は実習指導者講習会についての広報、実習受け入れ機関・施設及び実習指導者を対象に実施した「社会福祉士実習受け入れに関するアンケート」の調査報告、講習会の申込受付などの準備と実施、講習会修了者に対するフォローアップ研修を実施した。

(1) 実習指導者講習会の広報及び「社会福祉士実習受け入れに関するアンケート」の調査報告とお礼

- ・ 会員向けニュースで実習指導者講習会開催要項配布(7月)
- ・ 県内社会福祉士養成校へ開催要項配布(7月):船水オブザーバーの協力で県内担当者宛送付
- ・ 横浜市社協障害・高齢・児童福祉部会で配布(7月)
- ・ 川崎市高齢、児童・乳児・母子福祉部会で配布(7月)
- ・ 川崎市障害福祉施設事業協会で説明(7/22):岩崎理事
- ・ 医療機関へ説明(8月):逢澤委員
- ・ 県社協福祉タイムズに記事掲載(8月)
- ・ 県域の施設に講習会への職員派遣依頼とアンケート調査のお礼と報告を郵送(8月)
- ・ フォローアップ研修について講習会参加者宛通知
- ・ 会員向けニュース、HPで案内記事(9月)

(2) フォローアップ研修

- ・ 日程:10月22日(土) 参加者数:50名(講習会修了者48名、養成校教員2名)、他社養協より教員3名
- ・ 対象:2010年度までに実習指導者講習会修了した者、社会福祉士養成校教員
- ・ 内容:講義・グループ討議ー実習指導者と養成校教員が共に創る実習プログラムー
講師:駒澤大学准教授 川上富雄氏

(3) 実習指導者講習会の開催

- ・ 日程:12月17日(土)~18日(日) 修了者数:149名(定員150名、申込者284名、受講決定者155名)
- ・ 対象:講習会ガイドラインに準じて、現に実習指導をしている人、指導予定で資格登録古い順の方

- ・内容及び講師 実習指導概論講義：菊池健志氏 実習マネジメント論講義：猪又康行氏
実習プログラミング論講義：石渕真理氏
実習スーパービジョン論講義・演習：杉山佳子氏、成田すみれ氏、逢沢詳子氏

(4) 推進委員会活動等

①推進委員会の開催状況(委員長 西原留美子・副委員長岩崎晴子)

- ・開催数:年2回(6/13・11/21)
- ・主な内容

第1回・2010年度事業報告

(実習受け入れ機関・施設及び実習指導者アンケート調査報告、実習指導者講習会、フォローアップ研修報告等)

- ・2011年度事業計画・実習指導者講習会の開催と広報活動・フォローアップ研修について

第2回・今年度事業の進捗状況・2012年度事業方針、予算、事業計画等

②打ち合わせ：開催数:年9回

(5) 日本社会福祉士会との連携

- ・実習指導者講習会開催支部連絡会に参加：西原委員長、菅野事務局次長(3/18)

8. 介護保険対策事業の実施

(1) ケアマネジメント委員会の開催

介護保険対策事業を実施するにあたり、ケアマネジメント委員会を定期的に開催し、事業の進捗状況等を確認した。

計3回開催 11/5/26 8/8 9/23

(1) 研修会

高齢ケアマネジメント研修

「介護・診療報酬改定と地域ケアの推進について学ぶ」

2012年4月に予定されている「診療報酬・介護報酬の同時改定」における在宅医療の強化、介護保険制度での地域包括ケアシステムの構築、そこでの課題や支援者に求められる視点などについて学ぶことを目的に開催した。

講師：株式会社 今瀬ヘルスケアコンサルティング 所長 今瀬 俊彦氏

日程：2012年2月14日(火) 18:30~20:40

場所：ウィリング横浜 参加者:45名

主催：神奈川県介護支援専門員協会

共催：神奈川県医療事業協会、神奈川県社会福祉士会

(2) 介護支援専門員準備講座の受託及び実施

①介護支援専門員試験受験講座

県央

- ・8月27日(土)9:30~16:30 海老名総合福祉会館 参加者：29名

講師:石橋正道「介護保険制度論」

- ・8月28日(日)9:30~16:30 海老名総合福祉会館 参加者：26名

講師：梅田滋「ケアマネジメント、居宅介護支援、介護予防支援等」、

佐久間志保子「高齢者保険医療の基礎知識、受験のポイント」

横浜

- ・9月3日(土)9:30~16:30 ウィリング横浜 参加者：68名

講師:小泉昇「介護保険制度論」

- ・9月4日(日)9:30~16:30 ウィリング横浜 参加者：65名

講師：鈴木明「ケアマネジメント、居宅介護支援、介護予防支援等」、

佐久間志保子「高齢者保険医療の基礎知識、受験のポイント」

②介護支援専門員試験直前講座

- ・10月1日(土)10:00~16:30 ウィリング横浜 参加者:95名

講師:小嶋哲彦 「介護保険制度論」「居宅支援サービス」「介護サービス分野について」

(3) 介護支援専門員受講資格試験模擬試験問題の作成、頒布

介護支援専門員受講資格試験模擬試験問題を本会にて作成し、都道府県社会福祉士会及び団体等合わせて24団体に1685部(神奈川分を含む)を提供し、本会の収益事業にも大きく貢献した。
問題作成委員14名

梅田滋、大竹一史、新井仁子、石橋正道、金井守、小嶋哲彦、佐久間志保子、鈴木明、成田すみれ、山影彰大、石井千麻、菅原聡、八巻環

(4) 介護支援専門員実務研修受講試験模擬試験の実施

・9月23日(祝)9:45~16:30 ウィリング横浜 参加者:100名

模試問題の解説 成田すみれ、石橋正道

(5) 高齢者虐待対応現任者標準研修への協力

虐待防止法にもとづく虐待対応機関、協力機関等の現任者が、虐待対応にあたる上での専門的視点、技術を習得し、実践力の向上を図るために、高齢者虐待対応現任者標準研修を本会地域包括支援センター推進委員会および権利擁護事業ぱあととあ神奈川と共同開催し、運営やファシリテーターとして協力した。

9. 社会福祉士国家資格の取得支援の推進

対策講座や、大学での対策講座を行うとともに、全国統一模擬試験を実施し、資格取得を支援した。また、講座の質の向上を図るため、講座実施毎に講座内容に関するアンケート調査を行った。

(1) 社会福祉士国家試験受験対策講座

・日程:全6日間(9/24(土)、10/1(土)、10/2(日)、10/8(土)、10/16(日)、10/23(日))
・場所:ウィリング横浜・受講者数:123名

(2) 社会福祉士国家試験模擬試験

・日程:10月29日(土)10:00~15:35
・場所:ウィリング横浜・受験申込者数256名

(3) 大学の国家試験対策講座への講師派遣

東海大学は、大学の事情により未開催。(計4大学)

受講者数・講座開講日数(模試含む)・講師派遣延べ人数

	科目数	受講者数	日数	講師派遣延べ人数
関東学院大学	19	10	7	19
東洋英和女学院大学	19	44	10	19
日本女子大学	19	12	7	19
明治学院大学	19	97	7	19

(4) 講師会の開催

今年度は1回開催した。

6月18日(土)県社会福祉会館 会議室

対策講座受講者の合格率向上に向けてのテキスト作成・講座の持ち方について検討した。

(5) 社会福祉士国家試験 直前対策講座

日程:1月7日(土)1講義60分4教科(苦手とされる科目を中心に)+ガイダンス

場所:ウィリング横浜・受講者:64名

(6) 合格者把握対策

合格発表時に氏名が公表されないことから、本会が開催した受験対策講座の受講生・模擬試験受験者・直前講座受講生等に受験番号をあらかじめ本会に通知していただき、合格把握後に入会の案内送付を行った。番号通知を依頼した288名のうち74名から回答があり、36名の合格を確認した。

(7) 社会福祉士養成課程の見直しに伴う対策

2009年度から社会福祉士養成課程の教育の見直しと国家試験のあり方が変わったことに伴い、講座開講の各大学を訪問し担当者と打ち合わせを行い、講座のすすめ方について検討している。

10. 組織率向上と支部活動の振興

(1) 組織率の向上に向けた委員会

この数年、全国的にも下降傾向が目立ってきている会員組織率を上げることを目標に、退会の防止や入会の促進のための活動を行った。しかし、2011年度末は22.32%(2010年度末22.79%、2009年度末23.45%)と、低減傾向に歯止めはかかっている。

①入会促進の取組み

- ・新規合格者の入会促進対策として、初任者が受講する研修会3回分について補助金を出す「ウェルカムチケット」について、2012年度の新入会者から実施していく。

②初任者向けの取組み

- ・初任者研修における組織向上委員会の説明
全国でも先駆的な活動をしてきた本会の歴史および本会の組織の概要について説明した。
実績:前期7/9(土)、後期10/23(日)
- ・総会後の懇親会
総会後に懇親会を開催した。
実績:5/28(土) 35名
- ・初任者向けの実践発表会ふらす(未実施)
初任者に本会の活動を知ってもらう機会として、2010年度実践発表大会の中から2演題を選び、地域包括支援センター推進委員会の初任者研修と共催する予定だったが、初任者研修が一日開催となったため、午後に開催を予定していた実践発表会ふらすについては、開催できなかった。

③初任者の宿泊交流(ミステリーツアー)

- ・3年以内の初任者の交流の場として、第2回宿泊交流会を開催した。
実績:9名(11名申し込み)
実行委員会開催日数:年3回(7/24、9/3、10/29)
日時:11/26(土)～27(日) 1泊2日 場所:江の島女性センター 対象:3年以内の新人
第1回目(2010年度)参加者の再参加があり、毎年度実施することによる交流が期待される。

④2011年実践発表大会開催

- ・会員の活動報告(発表)を通して入会促進及び活動へ積極的な参加を目的に大会を実施し、ある程度の効果を得た。
- ・支部組織向上委員および実行委員により、大会に向けて準備を行った。
- ・実行委員会開催日数:年2回(10/8・2/5) 場所:ウィリング横浜 他
- ・大会実施日:2012年2月18日(土) 場所:ウィリング横浜
- ・発表7題 参加者数64名
- ・次年度は、研修委員会へ移管し、継続して開催する。

⑤組織向上委員会

- ・開催日数:年5回(6/53・9/3・10/8・11/12・2/5)
- ・開催場所:ウィリング横浜 他
- ・検討内容:支部組織向上委員会活動の情報交換、事業方策の検討、委員会年間計画、テーマ検討(魅力ある会づくり、入会促進・退会防止)、支部役員連絡会議、他委員会との連携 他
- ・支部組織向上委員会の取組みを共有することにより、支部役員の選任や支部活動の工夫、パンフレット・アンケートの情報交換ができた。
- ・支部主催研修を共有することにより、他支部の参加者が増え支部主催研修の参加者数が増加傾向にある。
- ・支部によっては、支部活動の活性化により、新入会員が増加し、退会も減っている。

⑥その他

- ・横浜支部が、社会福祉士受験生と合格者を対象に開催している「たまひよクラブ」の取り組みについて、組織向上委員で視察した。「たまひよクラブ」は学生も対象としており、学生が積極的に参加していることを踏まえ、次年度の全会全体の組織向上活動にも活かしていきたい。

(2) 支部活動の振興

①横浜支部(支部長:菅野善也)

○会議等の開催状況

- ①支部全体会 開催 2011年4月24日 45名参加 会場(西区福祉保健活動拠点)
講師 榎正晴氏 小倉明子氏 テーマ「社会福祉士の仕事DVD」への撮影協力を通して
- ②支部役員会 開催 計12回 開催年月 毎月
- ③研修会・定例会等 開催 計10回 開催年月 4、6、8、10、11、12、1、2、3

○会員への呼びかけ実績 250名 回数:MLにより随時

- ・7月 横浜地方検察庁見学(20名参加)
関東学院大学 現場実習前講義へ講師派遣
- ・10月 「たまひよクラブ」スタート
実践研究講座(～2月)
- ・1月 公開講座 ～元気なうちから考えるお葬式～
- ・他、各連絡会における研修会、見学会、イベント参加など

○月別事業報告

4月:役員会・総会	11月:役員会、研修会
5月:役員会	12月:役員会、研修会
6月:役員会 研修会	1月:役員会、研修会
7月:役員会	2月:役員会、研修会
8月:役員会 研修会	3月:役員会、研修会
9月:役員会 研修会	
10月:役員会 研修会	

②川崎支部(支部長:平山みちる)

○会議等の開催状況・月別状況

- ・支部総会・全体会:2011年4月23日、総会・研修会、福祉パルたかつ
講演「障害者就労支援の現状」柿嶋 一氏(川崎市ワークス大師指導課長)
参加者17名
- ・支部役員会・定例会
開催月 役員会 4月、7月、11月、2月 計4回
定例会 例会 7月、11月、2月 計3回
ばあとなあ 5月、7月、9月、11月、1月、3月 計6回
- ・会員への呼びかけ実績:
4月、5月、7月(2回)、9月、11月(2回)、1月、2月、3月 計10回

○月別事業報告

4月	23日福祉パルたかつ総会・研修会	11月	19日例会「難病の理解と罹患者への支援」杉山憲行氏(かながわ難病相談・支援センター事務局長) 川崎市総合自治会館 参加者15名
5月	21日ばあとなあ活動者の集い 「近況報告・情報交換」 教育文化会館 参加者8名		23日ばあとなあ活動者の集い 「近況報告・情報交換」「リーガルサポートとの情報交換」てくのかわさき 11名
7月	23日ばあとなあ活動者の集い 「近況・情報交換」「就任直後の事務」 多摩市民館 11名	1月	24日ばあとなあ活動者の集い 「近況報告・情報交換」「脳神経外科医との情報交換」てくのかわさき 12名
	30日例会「相談スキル・演習」 山中達也氏(山梨県立大学準教授) 川崎市自治会館 参加者 16名		
9月	23日ばあとなあ活動者の集い 「近況報告・情報交換」「後見活動における記録ツールについて」 ミュージア川崎 参加者8名	2月	25日例会「神奈川県地域生活定着支援センターの活動について」中西一郎(同センター所長) 福祉パルたかつ 参加者13名
		3月	24日ばあとなあ活動者の集い 「ばあとなあで活動しませんか・活

			動の紹介」多摩市民館 参加者 16 名
--	--	--	------------------------

③横須賀三浦支部（支部長：齊藤学）

- 会議等の開催状況
 - ・ 支部全体会：2011年5月14日 32名参加 会場：横須賀市生涯学習センター
「中核市が設置する児童相談所の現状と課題」 講師：横須賀市児童相談所 所長 高橋 ゆきえ氏
 - ・ 支部役員会：計11回（4月、5月、10月、11月、12月、1月、2月、3月）
 - ・ 研修会・定例会：計3回（7月・10月 定例会、1月車座集会）
- 会員への呼びかけ実績： 回数 5回 呼びかけ年月：4月9月11月12月2月
- 月別事業報告

4月：支部役員会 5月：支部定例総会及び講演会・懇親会 テーマ「児童福祉の現状と課題」 講師：横須賀市児童相談所長高橋ゆきえ氏 32名 6月：定例会：精神保健福祉士会合同企画 内容：精神障害者の就労支援を学ぶ 講師：富士ソフト企画 30名 7月：支部役員会 9月：支部役員会 11月：支部役員会 定例会「DVと共依存」18名	12月：ソーシャルワーク研修会 14名 テーマ：地域包括ケアシステム 講師：県立保健福祉大 太田貞司氏 忘年会 1月：車座集会 15名 「半径 500mの生活者の幸せ～頼れる 社会福祉士になろう」 2月：支部役員会 3月：定例会：精神保健福祉士会合同企画 内容：テーマ「不登校・引きこもり支援」 NPO法人よこすかアンガージュマンの実 践報告 16名
--	--

④湘南東支部（支部長：小野田潤）

- 会議等の開催状況
 - ・ 支部総会 4月16日（土） 茅ヶ崎市民文化会館
 議長：坂本明日香氏 書記：田中典子氏
 内容：2010年度事業報告（案）、2010年度決算報告（案）、監査報告、
 2011年度事業計画（案）、2011年度予算（案）、2011年度
 役員選任（補充）について
 参加者：13名
 - ・ 研修会・施設見学会・公開講座・相談会参加・ぱあとなあ地区ブロック情報交換会
- (1) 総会記念講演 4月16日（土） 茅ヶ崎市民文化会館
 テーマ：「無縁社会と市民の役割～地域で支える 一人暮らしの人々との絆を～」
 講師：利根川進氏（YMCA健康福祉専門学校非常勤講師）
 内容：行政職員・ケースワーカーとして多くの孤独死等の問題に直面してきた利根川氏とともに、
 「無縁社会」における市民と社会福祉士の役割を考える。
 参加者：27名
- (2) 施設見学会&研修会 8月20日（土）
 見学会：社会福祉法人白十字会・児童養護施設 林間学校（茅ヶ崎市）
 研修会：施設長の山川保氏より施設の歴史、役割、理念等の説明。職員の遠藤尚彦氏より子育て
 短期支援事業等の地域連携の説明。
 内容：児童養護施設・児童福祉の現状や、直面する課題を理解する。
 参加者：33名
- (3) 六士業合同無料相談会 10月1日（土）藤沢産業会館
 内容：藤沢商工会議所主催の市民向け相談会に相談員を派遣する。
 参加士業：税理士、司法書士、行政書士、社会保険労務士、土地家屋調査士、
 社会福祉相談員派遣：小野田潤・杉山雅子・田中典子・長谷川栄子
- (4) 「寒川町ふれあい福祉フェスティバル」参加 10月8日（土）寒川中央公園
 内容：「福祉なんでも相談コーナー」を設置し、町民からの相談に応じる。また、

社会福祉士に関するアンケートも実施し、120名から回答を得る。

(5) 公開講座 2月25日(土) 茅ヶ崎市民文化会館

テーマ：「虐待防止、支援者と自治体のできるこゝろ～高齢者・障害者支援における権利擁護の取り組み～」

講師：内嶋順一氏(みなと法律事務所 弁護士・横浜弁護士会高齢者障害者の権利に関する委員会委員長)

内容：2012年10月の「障害者虐待の防止、障害者の擁護者に対する支援等に関する法律」施行を前に、
高齢者・障害者支援における、法律家と福祉の現場の連携等について考える。

参加者：73名

(6) ばあとなあ地区ブロック情報交換会

目的：地区ばあとなあ、コーディネーターの間で情報交換や、受任ケース等の相談などを通して、受任者へのフォローアップも行う。

日時：5月23日,7月25日,9月26日,11月28日,1月23日,3月26日

・支部役員会・定例会：計6回(開催月：5月、7月、9月、11月、1月、3月)

支部会員定例会 藤沢市市民活動推進センター又は茅ヶ崎市市民活動サポートセンター

第1回 5月9日 (8月施設見学会打ち合わせ。理事、各委員からの報告等(以下の回も同様))

第2回 7月11日 (8月施設見学会の打ち合わせ等)

第3回 9月12日 (2月公開講座、寒川町イベント参加の打ち合わせ等)

第4回 11月14日 (2月公開講座の打ち合わせ等)

第5回 1月16日 (2月公開講座の打ち合わせ等)

第6回 3月12日(総会議案集分担、総会・記念講演打ち合わせ、次年度計画
検討、役員人事等)

○会員への呼びかけ実績：6回

「湘南い～すと通信」を奇数月に発行し、湘南東支部会員だけでなく、県内会員全体に送付した。

○月別事業報告(詳細は上記参照)

4月	4月16日：支部総会・記念講演	10月	10月1日：六土業合同無料相談会 10月8日：寒川町ふれあいフェスティバル参加
5月	5月9日：支部会員定例会	11月	11月14日：支部会員定例会
7月	7月11日：支部会員定例会	1月	1月16日：支部会員定例会
8月	8月20日：施設見学会・研修会	2月	2月25日：公開講座
9月	9月12日：支部会員定例会	3月	3月12日：支部会員定例会

⑤湘南西支部(支部長：小島操子)

○支部総会・全体会：開催 2011年5月7日 42名参加 会場：ひらつか市民活動センター
内容：第6回「なるほど講座」の市民公開講座として地域に呼びかける。
テーマ「神奈川県犯罪被害者等支援について」
講師 かながわ犯罪被害者サポートステーション 川合 充 課長

○成年後見セミナーと無料相談会：開催 2011年11月19日 68名参加 会場：二宮町民センター
内容：成年後見制度地域啓発相談事業
「成年後見制度を知る市民公開セミナーと無料相談会」
テーマ「成年後見講談～講談とシンポジウムでわかり易く学ぶ～」
講師 講談師 神田織音氏

○支部役員会・定例会：計12回(開催月：4・5・6・7・8・9・10・11・12・1・2・3月)

○準備会(総会・市民講座・施設見学・成年後見セミナー)

計12回(開催月：4・5・6・7・8・9・10・11・12・1・2・3月)

○会員への呼びかけ実績：計12回(開催月：4・5・6・7・8・9・10・11・12・1・2・3月)

○ 月別事業報告

4月 (19名)	役員会（東日本大震災の対応） 4月定例会 総会準備（印刷・発送作業）	10月 (24名)	成年後見セミナーのリハーサル 10月定例会
5月 (42名)	5月支部総会及び一般公開講座 （なるほど講座：犯罪被害者等支援）	11月 (72名)	成年後見制度地域啓発相談事業 （成年後見セミナーと無料相談会） 二宮町百合丘第22回福祉祭り参加
6月 (8名)	第1回成年後見セミナー実行委員会 男女共同参画展 6/23(水)～6/29(火)	12月 (12名)	12月定例会 ばあとなあ勉強会
7月 (32名)	施設見学会（スタジオクーカ） 車座集会・ばあとなあ勉強会 第2回セミナー実行委員会 第3回成年後見セミナー実行委員会	1月 (21名)	1月定例会 将来ビジョン検討会 役員会（次年度計画）
8月 (19名)	8月定例会 第4回成年後見セミナー実行委員会	2月 (53名)	役員会（次年度計画） 実践発表大会 ばあとなあ合同研修会 施設見学会（ソーレ平塚）2月定例会
9月 (26名)	成年後見セミナー会場準備（下見） 9月定例会 第5回成年後見セミナー実行委員会	3月 (14名)	3月定例会 事業報告・決算・次年度計画・予算 総会準備

⑥ 県央支部（支部長：小島祐行）

○ 会議等の開催状況

- ・支部総会・全体会：2011年5月15日開催、参加者：32名、会場：海老名市総合福祉会館
内容：2011年度事業報告・決算報告の承認、2011年度事業計画（案）・予算（案）の承認、
記念講演 テーマ：震災時の被災地等における社会福祉士の取り組みへの期待
講師：社会福祉法人相模原市社会福祉協議会 歌丸 浩一氏
- ・支部役員会 計3回（開催月：5月、11月、2月） 支部定例会 計12回（開催月：毎月）
- ・会員への呼びかけ実績：計12回（開催月：毎月）メールアドレス登録者へ一斉配信）
- ・月別事業報告（研修等については参加人数もわかる範囲でご記入ください）

○ 月別事業報告

4月	定例会 参加者 19名	10月	定例会 参加者 18名 情報交換座談会 参加者 18名
5月	定例会 参加者 10名 座間市社会福祉士相談会 相談 2件	11月	定例会 参加者 18名 情報交換座談会 参加者 18名 宿泊交流会 参加者 11名 座間市社会福祉士相談会 相談 2件
6月	定例会 参加者 12名 情報交換座談会 参加者 12名	12月	定例会 参加者 14名 情報交換座談会 参加者 14名
7月	定例会 参加者 15名 情報交換座談会 15名 座間市社会福祉士相談会 相談 2件	1月	定例会 参加者 17名 研修会 参加者 39名 座間市社会福祉士相談会 相談 1件
8月	定例会 参加者 16名 情報交換座談会 16名 福祉施設の1日見学会 参加者 31名	2月	定例会 参加者 11名 フレッシュ社会福祉士交流会 参加者 6名
9月	定例会 参加者 20名 座間市ふれあいフェスティバル 参加者 12名 ブース来場者 318名 座間市社会福祉士相談会 相談 2件	3月	定例会 参加者 14名 えびな社会福祉士の会 参加者 12名

⑦相模原支部（支部長：小針淳一）

- 会議等の開催状況
 - ・支部全体会：2011年5月21日 23名参加 会場：相模原市教育会館
「地域定着支援センターの取り組み」
講師：本会理事・地域定着支援センター相談員山下康氏
 - ・支部役員会：計11回（4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 2, 3月 開催）
2月・3月は「定例会」として開催
 - ・成年後見人等受任者情報交換会の実施（毎月1回開催）
 - ・成年後見制度市民公開講への協力
相模原市をはじめ、弁護士会、司法書士会、行政書士会、税理士会、社会福祉協議会と共に市民公開講座の開催へ参加・協力した。9月17日（土）、11月12日（土）、1月14日（土）
- 研修会：計4回
- 会員への呼びかけ実績：
- 月別事業報告

6月	○6/18(土)施設見学会「母子生活支援施設の現状」参加者25名
8月	8/20(土)参加者20名 「コミュニティ・カフェとは何か？」(株)ドリームビレッジ代表取締役村尾政彦氏 「これからの県士会・支部活動を話し合う」
10月	○10/22(土)市民公開セミナー 参加者81名 「認知症高齢者への介護の在り方・支援のこれから～介護保険制度一部改正の動向をふまえて～」基調講演及びシンポジウム ○10/30(日)働くパパママの会 参加者24名
12月	12/10(土)「会議を円滑に進めるためのファシリテーション」参加者25名

⑧西湘支部（支部長：瀬戸知樹）

- 会議等の開催状況
 - ・支部全体会（総会）：2011年4月24日 会場：本立寺
 - ・支部役員会：計8回（5月、7月、9月、12月、1月、2月、3月）
※役員以外の会員も参加できる情報交換会として実施
 - ・準備会：計4回（5月、7月、8月、9月）
 - ・会報誌：計2回（11月、2月）
- 会員への呼びかけ実績
 - ・家族支援研修7/30(土)、9/10(土)、11/29(土)
 - ・車座集会1/28(土) 懇親会（宿泊）1/28(土)～29(月)
- 月別事業報告

4月：西湘支部全体会（総会）・懇親会	11月：役員会・情報交換会 支部会報紙発行
5月：役員会・情報交換会	12月：役員会・情報交換会
7月：役員会・情報交換会、第1回家族支援研修	1月：役員会・情報交換会 車座集会
9月：役員会・情報交換会、第2回家族支援研修	2月：役員会・情報交換会 支部会報紙発行
10月：第2回家族支援研修	3月：役員会・情報交換会

11. 相談事業の実施

(1) ホームレス自立支援相談事業

厚木市より委託を受け、ホームレス自立支援相談事業を実施した。

①ホームレス自立支援相談件数

- ・ホームレス年間訪問件数 実施回数：36回
- ・ホームレス自立支援巡回相談員 10名

②相談事業委員会

- ・開催日数：3回
- ・開催場所：海老名市総合福祉会館 他
- ・内容：巡回相談等打合せ、課題の整理、報告の年間まとめ等

(2) ホームレス全国調査

- ・平塚市および厚木市へ調査員の推薦を行った。平塚市8名、厚木市8名

(3) ホームレス自立支援相談員研修の実施

- ・済生会平塚病院 MSW を講師として招き、相談員養成研修を実施した。
会場：YMCA 健康福祉専門学校 参加者約15名

(4) 貧困及びホームレス問題を啓発するための市民向けセミナーの開催

- ・貧困及びホームレス問題啓発のための市民向けセミナー「“モノモライ”と“ホームレス”～湘南地域におけるホームレス問題を考える～」を開催した。
会場：平塚カトリック教会
講師：東京家政学院大学 西海賢二氏
シンポジスト：済生会平塚病院 MSW 若林いずみ氏
平塚パトロール 由良哲生氏 尚和のりこ氏
神奈川県司法書士会 古根村博和氏
コーディネーター：本会会長 本多洋実氏
- ・実行委員会 5回開催
- ・開催場所 海老名市内公共施設、平塚カトリック教会 他
- ・参加者 約40名（スタッフ含む）

(5) 自殺対策への取り組み

- ・神奈川県地域自殺対策緊急強化交付金事業助成金を受託し、県士会として初めての自殺対策への取り組みを行った。
①ゲートキーパー養成講座を開催し、受講者61名が修了証と記念バッジを取得した。
②精神科医・弁護士・司法書士・社会福祉士による包括相談会「こころの健康・法律・福祉無料相談会」を開催し、相談者26名へ対応した。

(6) 独立型社会福祉士の活動支援

- ・独立型社会福祉士名簿登録者による集会を、年3回開催し、ネットワーク化を図った。

(7) ホームレス等及び生活困窮者支援事業の実施

- ・事業の実施体制

①事業実施の場所と設備について

所在地：神奈川県厚木市

建物：軽量鉄骨造・2階建 各階4戸 合計8戸

内訳：事務室1部屋、食堂・談話室1部屋 居室6部屋

居室設備：1K（6畳洋室、押し入れ、キッチン、浴室、トイレ付）

事務室：机3台 相談用テーブル1台 パソコン、プリンターなど

食堂・談話室（共用スペース）TV 1台 ガスコンロ 食食用テーブル・椅子 洗濯機など

- ・相談窓口の利用状況

①相談件数：延べ124件（うち新規相談者数72人）

②新規相談者：男女比率・ほぼ半々、年齢・10代以下～70代

③問い合わせ元：近隣の市町村生活保護ケースワーカー、母子・DV関係の担当者、医療機関、当事者等

④年末年始（12月29日～1月3日）の対応：日中に相談員を2名体制で配置。やどりぎ近隣で路上生活を送っている方々に対しては、年末年始も相談窓口が設置されている旨案内を行った。

12. 広報活動の推進

(1) 広報誌「社会福祉士かながわ」の発行

- ① 第60号 2011年5月15日発行
巻頭言:「東日本大震災と社会福祉士会活動」
2010年度第2回通常総会報告、地域定着新センターの活動報告と今後の課題
- ② 第61号 2011年7月15日発行
巻頭言:「2011年度の新たな事業展開 ～ホームレス等生活困窮者支援事業の委託を受けて」
2011年度第1回通常総会報告、総会講演「震災後の子どもと家族の支援について」講師:お茶の水女子大学大学院准教授 青木紀久代 氏
- ③ 第62号 2011年9月15日発行
巻頭言:「被災地の子どもたち ～そしてこれからの支援活動に思うこと～」
会員不祥事事件経過及び検証結果について(報告及び提言)
- ④ 第63号 2011年11月15日発行
巻頭言:「新たに『公益認定法人』として活動を進めるために」
- ⑤ 第64号 2012年1月15日発行
巻頭言:「会長新年あいさつ」
公益社団法人として本会が目指す「公益目的の活動」について、新しい「生涯研修制度」について
- ⑥ 第65号 2012年3月15日発行
「東日本大震災から1年・支援の手を緩めずに ～神奈川県社会福祉士会の取り組み～」

(2) ホームページの企画・運営

- ・会員専用ホームページを活用し、求人情報、研修案内等随時掲載を行った。月間平均アクセス数2万件

(3) 広報委員会の開催

- ・年間6回広報委員会を開催し、編集会議・情報交換を行った。(メールによる意見交換等含む)

(4) その他

- ・正副会長会議への担当理事陪席により、的確な情報収集を行った。

13. 組織の運営と整備

(1) 通常総会の開催

① 第1回通常総会の開催

日時:2011年5月28日(土)13:15～17:10

場所:ウイリング横浜12階121～122

参加者数:1,231名(出席者数96名+委任状による出席者数:1,022名)会員総数2,267名

講演「震災後の子どもと家族の支援について」

講師 お茶の水女子大学大学院 准教授 青木紀久代 氏

議長:小野田潤、二藤部義博 議事録署名人:中島礼子、山内鮎美

<議案 報告・審議>以下について承認した。

<報告事項>①将来ビジョン検討会からのまとめ、②災害対策本部報告(日本士会・本会)③地域生活定着センター事業報告、④ホームレスシェルター事業報告

<審議事項>

第1号議案 2010年度事業報告(案)

第2号議案 2010年度第3次補正予算(案)

第3号議案 2010年度一般会計及び特別会計決算報告(案)

第4号議案 2011年第1次補正予算(案)

第5号議案 就業規程及び給与規程一部改正案

第6号議案 日本社会福祉士会連合体への加入(案)

第7号議案 会費に関する規程の変更(案)

第8号議案 懲戒に関する規程（案）

② 第2回通常総会の開催

日時:2012年3月20日(火・祝) 13:30~17:00

場所:神奈川県社会福祉会館2階ホール

出席者数:1,358名(出席者66名+委任状による出席者1,292名) 会員総数2,425名

議長:田中晃、雨宮徹 議事録署名人:小堀和宏、佐久間志保子

講演・来賓なし

<議案 報告・審議>以下について承認した。

<審議事項>

第1号議案 2011年度第2次補正予算（案）

第2号議案 2012年度事業計画（案）

第3号議案 2012年度予算（案）

第4号議案 新公益社団法人への移行に伴う定款変更（案）

第5号議案 社団法人神奈川県社会福祉士会役員の改選

(2) 理事会の開催(理事会は理事総数18名・過半数出席にて会成立)

①第1回(2011年4月23日(土)9:30~12:00)社会福祉会館2階第2会議室

出席:理事18、書面表決2、事務局1名

<議案 審議・報告・協議>以下を行い承認した。

・審議事項

第1号議案 入退会の審査

第2号議案 2010年度(社)神奈川県社会福祉士会事業報告(案)

第3号議案 2010年度(社)神奈川県社会福祉士会第3次補正予算(案)

第4号議案 2010年度(社)神奈川県社会福祉士会一般会計及び特別会計決算報告(案)

第5号議案 2011年度(社)神奈川県社会福祉士会第1次補正予算(案)

第6号議案 2011年度支部活動費の審査

第7号議案 ばあとなあ神奈川運営委員会地区コーディネーター委嘱

第8号議案 神奈川県社会福祉士会就業規程の改正案(注:ホームレス新規事業に伴い緊急時の宿直が入るため)及び給与規程の一部改正案

第9号議案 ホームレス新規事業非常勤職員フレックスタイムの細則案

第10号議案 役員選出委員会の委員委嘱 第11号議案 法人後見第12号の受任

第12号議案 総会報告事項・ビジョン検討会からの新組織体制への提言

・報告事項

①2010年度監事監査(4月22日) ②本会公益認定法人設立委員会委員候補者名簿(案)

③2010年度第9回理事会議事録 ④地域生活定着支援センター、神奈川県との契約その他

⑤神奈川県ホームレス等及び生活困窮者支援事業、神奈川県との契約その他

⑥2011年3月分の会計報告⑦各委員会からの報告

・協議事項

①自殺対策の取り組み②災害支援活動の経過と報告及び災害対策本部の今後の在り方と支援活動費の支出③神奈川県からの事業提案「県内に在住する被災者を対象とした生活支援事業」

④日本社会福祉士会災害本部 災害支援伝達研修会(5月22日)の出席者

⑤横浜保護観察所より「社会を明るくする運動神奈川県推進委員会委員への就任依頼」

⑥第1回通常総会講師報告及び議事(案)とスケジュール案⑦第1回通常総会終了後の新入会者との歓迎交流会の実施⑧名義後援関係:第24回神奈川県里親大会後援のお願い ⑦理事名簿の作成

②第2回(2011年5月28日(土)9:30~10:30)ウィリング横浜12階122

出席:理事17、書面表決2、事務局1名

<議案 審議・報告・協議>以下を行い承認した。

・審議事項

第1号議案:入退会の審査 第2号議案:支部活動費の審査 第3号議案:各委員会委員委嘱

第4号議案：委員会・部会設置規程の改正

・協議事項

①第1回通常総会の分担・進行の確認 ②第1回通常総会終了後の新入会者との歓迎交流会の進行確認について

・報告事項

①監査での指摘事項の対応（ばあとなあ・研修体系化の取り組みに関することを7月広報に掲載する予定）
②神奈川県事業「見守り隊」③2011年度4月分会計報告 ④首都圏県士会による災害対策打合
⑤県内医療保健福祉関連職能団体：災害関係情報交換会 ⑥日本社会福祉士会本部災害支援研修会
⑦関東甲信越ブロックの動き⑧役員研修会（7月23日）講師紹介

③第3回（2011年7月23日（土）9：30～11：30伊勢原シティプラザ1階会議室

出席：理事16、書面表決4、事務局1名

<議案 審議・報告・協議>以下を行い承認した。

・審議事項

第1号議案：入退会の審査 第2号議案：委員会委員委嘱（業務監督委員会外部委員）
第3号議案：役員選考委員会委員選出 第4号議案：公益法人化準備に向けた会計事務所との契約
第5号議案：自主活動費申請の審査

・協議事項

①第1回支部役員連絡会の進行

・報告事項

①2011年度第2回理事会議事録 ②2011年度5・6月分会計報告
③神奈川県社協人材センター運営委員会委員 ④各委員会報告 ⑤日本社会福祉士会 連合体加入申し込み
⑥ばあとなあ運営委員会の動き⑦見守り隊の進捗状況について

・その他 ①日本社会福祉士会災害支援 ②委員会名簿・支部役員名簿

④第4回（2011年9月10日（土）9：30～12：00）ウィリング横浜6階会議室1

出席：理事15、書面評決5、事務局1名

<議案 審議・報告・協議>以下を行い承認した。

・審議事項

第1号議案：入退会の審査 第2号議案：賛助会員入会
第3号議案：定着支援センターネットワーク委員会委員の委嘱
第4号議案：公益法人化設立委員会委員委嘱 第5号議案：地域包括推進委員会新委員委嘱
第6号議案：ばあとなあ地区コーディネーター委嘱

・協議事項

①2012年度役員改選に伴う現理事の重任（継続）・退任の状況
②日本社会福祉士会震災支援活動ボランティア派遣の協力
③ホームレスシェルター事業運営状況 ④高齢者虐待対応研修対応 ⑤第2回支部役員連絡会開催

・報告事項

①2011年度7月分会計報告 ②各委員会・ホームレスシェルター・定着支援センターの動き
③震災関係（見守り隊・県内専門職団体支援活動）④日本社会福祉士会支部長会議
⑤日本社会福祉士会の委員会委員の推薦⑥慶弔規程による職員慶事への祝金支出
⑦役員選考委員会（第1回8月15日）と役員公募の告示 ⑧第2回福祉のしごとフェア相談コーナー参加 ⑨2011年度第2回総会日程

・その他 ①県社協第2種第3種会員連絡会からの政策提言への協力 ②神奈川県社会福祉専門学校専任講師募集

◎臨時理事会 2011年10月17日（月）19時～20時50分 神奈川県社会福祉会館2階第2会議室

出席：理事15、書面評決5、事務局1名

<緊急検討事項>以下を行い承認した。

・検討事項

○見守り隊に関して ○共同募金申請認可 ○東日本大震災支援活動に関する支払基準

- 2011年度川崎支部活動費追加申請
- 虐待対応研修
- 公益法人準備委員会資料から一定款

⑤第5回(2011年11月12日(土)13:30~16:00)ウィリング5階 503

出席:理事16、書面評決4、事務局2名

<議案 審議・報告・協議>以下を行い承認した。

・審議事項

- 第1号議案:入退会の審査
- 第2号議案:支部活動追加申請
- 第3号議案:高齢者虐待対応研修
- 第4号議案:数料規程見直し案

・報告事項

- ①2011年度第4回理事会議事録
- ②2011年度9月分会計報告
- ③新生涯研修制度
- ④各委員会・ホームレスシェルター・定着支援センターの動き
- ⑤震災関係(見守り隊・県内専門職団体支援活動)
- ⑥慶弔規程による会員への香典支出
- ⑦公益法人化準備経過
- ⑧役員選出状況

・協議事項

- ①2012年度事業計画・予算計画及び重点事業
- ②神奈川県社会福祉士会設立20周年(2012年12月)行事
- ③臨時理事会開催についてー公益法人化のための定款規程類検討ー日程調整

⑥第6回(2011年12月3日(土)13:00~15:15)茅ヶ崎市役所分庁舎5階コミュニティホールA・B

出席:理事18、書面表決2、事務局1名

<議案 審議・報告・協議>以下を行い承認した。

・審議事項

- 第1号議案:入退会の審査
- 第2号議案:手数料規程の見直し案

・協議事項

- ①日本社会福祉士会スーパービジョン研修受講推薦
- ②次期役員との引き継ぎに関するスケジュール
- ③2012年度各委員会からの事業計画・予算計画提出の進捗状況
- ④2012年度事業計画及び重点事業について
- ⑤2011年度3月総会の形式
- ⑥その他

・報告事項

- ①2011年度第5回理事会議事録
- ②2011年度10月分会計報告
- ③虐待対応研修実施への進捗状況
- ④各委員会
- ⑤ホームレスシェルター・定着支援センター
- ⑥震災関係ー見守り隊・日本社会福祉士会協力活動等
- ⑦日本社会福祉士会スクールソーシャルワーカー研修会
- ⑧成年後見地域啓発セミナー
- ⑨支部役員連絡会

◎臨時理事会 2011年12月18日(日)9:30~15:00 ウィリング12階121

出席:理事15、書面評決5、事務局1名

<緊急審議事項>以下を行い承認した。

・検討事項

- 第1号議案:新公益法人移行に関する定款変更

⑦第7回(2012年1月21日(土)9:30~12:00)ウィリング6階 会議室1

出席:理事14、書面表決6、事務局1名

<議案 審議・報告・協議>以下を行い承認した。

・報告事項

- ①生活困窮者支援事業シェルターやどりの現況
- ②臨時理事会議事録
- ③公益法人化準備に伴う神奈川県監査指導課への訪問
- ④震災関係
- ⑤2011年度11月分会計報告
- ⑥各委員会、委託事業の進捗状況(活動報告と予定)
- ⑦他団体への協力等・賀詞交歓会出席・名義後援協力等・県社協主催第3回福祉のしごとフェア相談員派遣
- ⑧高齢者虐待対応研修開催
- ⑨神奈川県「かながわランドデザイン(仮称)」素案へ意見提案対応

・審議事項

第1号議案：入退会の審査 第2号議案：2012年度事業計画及び重点事業（案）（委員会除く本会全体部分）第3号議案 厚木市・平塚市ホームレス全国調査協力調査員の推薦
第4号議案 総会議事案

・協議事項

①2012年度予算案・各委員会からの事業計画・予算計画 ②総会までのスケジュール案

⑧第8回(2011年1月29日(土)9:30~11:55)ウィリング横浜多目的室

出席:理事15、書面表決5、事務局1名

<議案 審議・報告・協議>以下を行い承認した。

・審議事項

第1号議案：入退会の審査 第2号議案：ぱあとなあ神奈川運営委員会 2012年度委員の委嘱

・報告事項

①2011年度第7回理事会議事録 ②2011年度12月分会計報告 ③各委員会、委託事業の進捗状況(活動報告と予定)について④震災関係 ⑤公益法人化準備に伴う神奈川県監査指導課への定款変更案の提出 ⑥県有財産使用賃借契更新の申請書提出

・協議事項

①2012年度理事会日程案

⑨第9回(2012年3月11日(日)9:30~12:00)ウィリング横浜6階 第1会議室

出席:理事19、書面表決1、事務局1名

・審議事項

第1号議案：入退会の審査 第2号議案：受託事業の継続等 第3号議案：日本社会福祉士会との連合体移行事務委託契約 第4号議案：虐待対応研修の受講者遅刻・早退取扱い

・報告事項

①2011年度第8回理事会議事録 ②2011年度2012年1月分会計報告

・協議事項

①2011年度事業報告（案） ②総会進行と役割分担等

(3) 正副会長会議、監事監査、支部役員連絡協議会の開催

①正副会長会議

理事会討議事項及び重要案件について会議を行った。

2011年4月14日、4月18日、5月16日、6月13日、7月5日、7月21日、9月1日、10月13日、11月29日

2012年1月13日、2月18日、3月5日 新旧会長引継ぎ3月30日

②監事監査の開催(2011年4月22日(金)19時~21時)県社会福祉会館会議室

(4) 支部役員連絡会議(理事会及び役員研修会と同日に開催)

①第1回(2011年7月23日(日)13:15~15:15)伊勢原シティプラザ 3階研修室

出席者:会長、副会長、理事:各支部役員、事務局

<議題> ①神奈川県社会福祉士会活動活動について②各支部活動の現状と課題、意見交換③その他

②第2回(2011年12月3日(土)15:30~17:00)茅ヶ崎市役所分庁舎5階 コミュニティホールA・B

出席者:会長、副会長、理事:各支部役員、事務局

<議題>①公益法人化に向けての準備状況について、②新生涯研修制度について、③各支部活動の現状と課題、意見交換、④その他

(5) 会員の加入状況 会員数 2,347名、組織率 22.32%(2012年3月末現在)

- ・神奈川の会員:実質145名の増(2011年度末2,202名、昨年度実績145名増)
- ・神奈川県登録者数累計:10,516名(2012年2月末)
- ・神奈川県合格者数累計:10,551名(第1回~第24回まで)
- ・全国合格者数累計:159,885名(第1回~第24回まで)
- ・全国登録者数累計:146,463名(2012年2月末)

- ・全国会員数:34,758名(2012年3月末の組織率23.05%)
- ・社団法人化後の会員加入の推移 ※加入数は退会等を差引いた数字を表す

データは主として日本社会福祉士会統計による

年次	加入(退会・転出)	会員現員数	組織率	全国平均
2001.3末	150(-5)	698	39.39%	(41.78%)
2002.3	161(-8)	859	38.23%	(39.91%)
2003.3	171(-22)	1030	36.54%	(37.18%)
2004.3	163(-33)	1193	34.20%	(34.19%)
2005.3	143(-32)	1336	31.04%	(31.35%)
2006.3	183(-30)	1519	29.71%	(29.65%)
2007.3	156(-54)	1675	28.26%	(28.51%)
2008.3	102(-75)	1777	26.22%	(26.85%)
2009.3	165(-95) ※転出29、退会66	1942	24.95%	(25.66%)
2010.3	115(-107) ※転出26、退会81	2057	23.45%	(24.23%)
2011.3	259(-114) ※転出29、退会85	2202	22.79%	(23.58%)
2012.3	266(-121) ※転出30、退会91	2347	22.32%	(23.05%)

(神奈川県合格者内訳)

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
24	34	52	70	76	81	97	156	180
第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回
201	325	390	445	532	675	725	793	779
第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回			
803	897	920	804	782	710			

支部別会員数(2010年3月末)

支部名	人数	%	支部名	人数	%
横浜	882	38%	県央	248	10%
川崎	300	13%	相模原	174	7%
横・三	230	10%	西湘	139	6%
湘南東	193	8%	総合計	2347	100%
湘南西	181	8%			

14. 他団体との連携

(1) 日本社会福祉士会等の委員等の推薦と参加

【日本社会福祉士会 委員等関係】

常任理事：小埜和宏、理事：平田美智子

代議員：成田すみれ、高島さち子、本多洋実、平山みちる、齊藤学、小泉昇、菅野清、菅野善也

委員会：国際委員会・平田美智子、秋山智久、綱紀委員会・中西一郎、成年後見委員会・齋藤憲磁、西原留美子、虐待対応システム研究委員会・手引き策定作業委員会・浦野正男、

地域包括支援センター支援委員会・高山由美子、中澤伸、滞日外国人支援委員会・坪田由紀子、

「自殺予防」対策検討作業委員会・小埜和宏、基礎・共通研修課程整備委員会・山崎智美

【市町村・他団体委員等】(2011年度推薦分のみ)

NPO 法人神奈川県介護支援専門員協会 地域連携委員会地域包括部会委員：佐藤雅美

伊勢原市介護認定審査会委員：石田貢一、佐藤雅美、田中晃、津森陽子、等松康子、平岡祐二、牧野庸夫、

山岸道子、吉田稔、古川直子

秦野市介護認定審査会委員：三瓶悦子、池田光陽、原常男、畑武子

湯河原町介護保険事業計画等策定委員会委員：三井文子

厚木市地域包括支援センター運営協議会委員：小暮恒夫

相模原市障害程度区分判定等審査会委員：鎌田かおり、赤木陽子、稲葉智枝子、吉川尚子、林敬之、松下真也

小田原市障害程度区分等認定審査会委員：露木とし、本多洋実、岡西博一

南足柄市等1市5町他障害程度区分認定審査会委員：西山高昭、和田明子

平塚市障害者自立支援法審査委員：湯川智子

鎌倉市障害者介護給付費審査会委員：石崎洋美、梶谷洋之

山北町障害福祉計画策定委員：内田ミサヲ

綾瀬市社会福祉協議会 地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）契約締結審査会委員：畑武子

綾瀬市社会福祉協議会 法人後見事業審査会委員：那須三郎

川崎市社会福祉協議会 苦情解決第三者委員：坪田由紀子

川崎市社会福祉協議会 第三者評価機関運営委員会・評価決定委員会：棒恵一

(2) 他団体・社会福祉士養成校との連携

<他団体式典等>

主に正副会長が下記式典等に出席

入学式・卒業式（鶴嶺学園、神奈川県立保健福祉大学）

総会（医療社会事業協会、精神保健福祉士協会）

記念式典（成年後見支援センター開所、埼玉県社会福祉士会公益法人設立神奈川犯罪被害者支援センター
創立10周年記念）

賀詞交歓会（神奈川県社会福祉協議会、リーガルサポート神奈川県支部、東京税理士会、神奈川県看護協
会、ソーシャルケアサービス従事者研究協議会、神奈川県行政書士会）

(3) 理事・監事・相談役の現況

会 長 本多洋実

副 会 長 小泉八重子 小泉昇 菅野清

理 事 池永康子 杉山幸雄 大淵義博 新井仁子 佐藤雅美 岩崎晴子 八巻環
山崎智美 吉田勝利 内藤美幸 重村由美子 佐々美弥子 西山元弘 平岡祐二
山影彰大 山下康

監 事 菊池健志 山口正一

<職員状況> 2012年3月末現在

<事務局> 事務局長代理：菅野美和子、常勤職員：鷺見美貴子、権利擁護事業専門員：吉田 綾
非常勤：金子愛、アルバイト：諸我安代

<神奈川県地域生活定着支援センター>

センター長：中西一郎、主任相談員：中山強、相談員：岡部眞貴子、山下康

相談専門員：長島正樹

<生活困窮者支援事業 @HOUSE やどりぎ>

主任相談員：降旗聡、非常勤職員：佐藤一帥